

## 安全データシート



### 1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1  
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室  
 担当者 : 認証標準物質担当  
 電話番号 : 029-861-4059                      ファックス番号 : 029-861-4009  
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2007年8月29日

改正日 : 2020年1月31日

整理番号 : 5202001

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ CRM 5202-a SiO<sub>2</sub>/Si 多層膜標準物質  
 SiO<sub>2</sub>/Si Multilayer Film Reference Material

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、オージェ電子分光、X線光電子分光、二次イオン質量分析などにおけるイオンスパッタリングによる深さ方向分析における、分析の精度管理及び測定条件の調整に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。  
 本標準物質は、標準物質(日本産業規格(JIS) Q0030に定められるもの)である。

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類できない  
 GHSラベル要素 : 該当なし  
 注意喚起語 : -  
 危険有害性情報 : -  
 その他の有害性情報 : 吸入または飲み込んだ場合有害である。眼、粘膜に接触すると刺激作用がある。長期暴露により不快感、吐き気、頭痛などの症状を起こすことがある。

注意書き : [安全対策]  
 取扱いの際は手の保護具を使用すること。  
 [応急措置]  
 飲み込んだ場合 : 大量の水を飲ませ、吐かせる。異常があれば医師の手当を受ける。  
 [保管]  
 清浄な環境で室温にて保存すること。窒素気流下での保存を推奨する。  
 [廃棄]

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: SiO <sub>2</sub> /Si 多層膜
化学特性	: SiO <sub>2</sub> 、Si
分子量	: -
CAS 番号	: -
含有量	: -
官報公示整理番号(化審法)	: -
官報公示整理番号(安衛法)	: -

#### 4. 応急措置

吸入した場合	: 通常の取扱いでは、危険性は低い。
皮膚に付着した場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。炎症を生じたときは医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 通常の手扱いは危険性はない。
飲み込んだ場合	: 大量の水を飲ませ、吐かせる。医師に連絡する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: 眼、粘膜に接触すると刺激作用がある。
応急処置をする者の保護	: 個人用保護具を着用すること。

#### 5. 火災時の措置

消火剤	: 不燃物であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。
火災時の特有危険有害性	: 特になし。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
消火を行う者の保護	: 防火服、空気呼吸器等の保護具を使用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	: かき集めて回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策	: -

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 特になし。

- 局所排気・全体換気 : 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
- 安全取扱い注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
- 漏れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- 使用後は容器を密閉する。
- 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
- 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。

#### 保管

- 適切な保管条件 : 清浄な環境で室温にて保存すること。
- 安全な容器包装材料 : プラスチック容器

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

## 8. 暴露防止及び保護措置

#### 管理濃度

設定されていない

#### 許容濃度

- ・ACGIH TLV(s) : TWA 0.1 mg/m<sup>3</sup>
- ・日本産業衛生学会勧告値 : 設定されていない。
- ・OSHA PEL : 8H TWA 10 mg/m<sup>3</sup> (% resp SiO<sub>2</sub>)

#### 設備対策

- 換気・排気 : 粉塵が発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
- 安全管理・ガスの検知 : -
- 貯蔵上の注意 : -

#### 保護具

- 呼吸器の保護具 : 粉塵が発生する場合、防塵マスクを使用する。
- 手の保護具 : 保護手袋。
- 目の保護具 : 保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣。

## 9. 物理的及び化学的性質

- ・外観 : 13×13 mm<sup>2</sup>の正方形の薄片
- ・色 : データなし
- ・臭い : データなし
- ・pH : データなし
- ・融点 : データなし
- ・沸点 : データなし
- ・引火点 : データなし
- ・爆発範囲 : データなし
- ・蒸気圧 : データなし

- ・相対蒸気密度（空気 = 1） : データなし
- ・比重又は嵩比重 : データなし
- ・溶解度 : データなし
- ・n-オクタノール／  
水分分配係数（log Po/w） : データなし
- ・自然発火温度 : データなし
- ・分解温度 : データなし
- ・燃焼性 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

### ◇安定性

- ・通常条件で安定である。

### ◇反応性

- ・データなし

### ◇危険有害反応性

- ・データなし

### ◇避けるべき条件

- ・日光、熱

### ◇混触危険物質

- ・データなし

### ◇危険有害な分解生成物

- ・データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口 ラット LD50 3160 mg/kg 腹腔内 ラット LDLo 50 mg/kg 静脈内 ラット LD50 15 mg/kg 気管内 ラット LDLo 10 mg/kg
発がん性	IARC グループ 3（ヒトに対する発がん性については分類できない）
その他	

※有害性情報については、混合物としての情報がないため、原材料の情報より作成しています。本製品は通常の条件下では安定であり、有害な添加剤成分が溶出する等の危険はありませんが、高温下での使用など特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を行ってご使用ください。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

- ・データなし

### 分解性・濃縮性

- ・データなし

### 生体蓄積性

- ・データなし

### 土壌中への移動性

- ・データなし

---

オゾン層への有害性

- ・データなし

---

### 13. 廃棄上の注意

- ・データなし。

---

### 14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当なし
国連分類	: -
品名	: -
容器等級	: -
ICAO/IATA	: 該当なし
海洋汚染物質	: 該当なし
注意事項	: 直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運搬する。

---

### 15. 適用法令

適用法令なし

---

### 16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。